

リチウムイオン電池^{※ニッケル水素、ニカド電池}などの正しい捨て方

スマホ、モバイルバッテリーなど、充電式で繰り返し使用できるこれらの製品の多くには、リチウムイオン電池などが内蔵されています。便利な一方、捨て方を間違えると発火する恐れがあり、大変危険です。

リチウムイオン電池などを
回収中のごみ収集車・処理施設
からの出火件数（全国）

R7
213件

市内でも今年に入り、ごみ処理
施設で火災が発生しています

リチウムイオン電池などを使用している製品

※このほか、コードレス掃除機、携帯ゲーム機、スマートウォッチ、ゲームコントローラー、ワイヤレスイヤホンなど、さまざまな製品があります

スマホ



モバイルバッテリー



加熱式たばこ



ハンディファン



電気シェーバー



リチウムイオン電池などの捨て方

正しく捨てないと火災の危険性があります

01 リサイクルマークを確認する

- 表示が無い場合でも「充電できる」「電源に接続していなくても動く・光る」製品はリチウムイオン電池などを使用している可能性が高い
- **取り外せない場合はそのまま捨てる**



02 必ず、絶縁する

- コードの差し口など、**接続部分を必ず絶縁**する
- 電池の端子部分は、**メーカーや品番が見えるように、必ずテープで絶縁**する



03 袋に入れ、電池の日

- **乾電池類とは分ける**
- **中身が見える袋**に入れる
(レジ袋など中身が見えない袋は不可)
- 市規格の袋以外でもOK



膨張・変形した電池は集積所に捨てられません。次の施設まで直接持ち込んでください

- ・本庁舎 6 階 資源循環推進課
- ・北部清掃センター（平上片寄字大平23）
- ・南部清掃センター（泉町下川字境ノ町63-1）
- ・クリンピーの家（渡辺町中釜戸字大石沢24-1）



▲受付時間など

電池の回収ルールが新しくなりました！

回数：2回/年 ▶ 4回/年
対象：乾電池のみ ▶ 全ての電池

